

# 地域家族しんちゃんハウス通信


## 放課後児童クラブ版6月号

2020年5月1日(金)発行 No.223

<南林間しんちゃんハウスのみなさん♡>

<西鶴間しんちゃんハウスのみなさん♡>

1	月	朝食堂7:15	
2	火		
3	水	3年生以上買いおやつ	
4	木		
5	金		
6	土	子供食堂(要予約)*小銭をご用意下さい	
7	日		
8	月	朝食堂7:15	
9	火		
10	水	FMやまと77.7MHz(9:00・15:00・21:00)	
11	木		
12	金		
13	土	子供食堂(要予約)*小銭をご用意下さい	
14	日		
15	月	朝食堂7:15	父の日メッセージ ↓
16	火		
17	水	2年生買いおやつ	
18	木		
19	金	理事会	
20	土	子供食堂(要予約)*小銭をご用意下さい	
21	日	父の日	
22	月	朝食堂7:15/1年生買いおやつ	
23	火	1年生買いおやつ	
24	水	FMやまと77.7MHz(9:00・15:00・21:00)	
25	木	6月生まれさんのお誕生日会	
26	金		
27	土	*子供食堂はありません/認知症カフェ	
28	日		
29	月		
30	火		

1	月		
2	火		
3	水		
4	木		
5	金		
6	土	南林間しんちゃんハウスでお預かり	
7	日		
8	月		
9	火		
10	水	FMやまと77.7MHz(9:00・15:00・21:00)	
11	木		
12	金		
13	土	南林間しんちゃんハウスでお預かり	
14	日		
15	月		父の日メッセージ ↓
16	火		
17	水	3.4年生買いおやつ	
18	木	2年生買いおやつ	
19	金		
20	土	南林間しんちゃんハウスでお預かり	
21	日	父の日	
22	月	1年生買いおやつ	
23	火	1年生買いおやつ	
24	水	FMやまと77.7MHz(9:00・15:00・21:00)	
25	木		
26	金	6月生まれさんのお誕生日会	
27	土	南林間しんちゃんハウスでお預かり	
28	日		
29	月		
30	火		

\*予定表は変更される場合がありますのでご了承ください。

世の中に子育てしんどい仕事はありません。

だって、私たちの未来を創ることであり、未来の幸せを可能にする仕事だから。

認定NPO法人 地域家族しんちゃんハウス 理事長 館合 みち子

メール: info@shinchanhouse.com URL: http://www.shinchanhouse.com/

<南林間しんちゃんハウス> ㊟242-0006 大和市南林間7-1-15 TEL/FAX 046-275-7955

<西鶴間しんちゃんハウス> ㊟242-0006 大和市南林間6-7-3 TEL/FAX 046-207-4693

<相談窓口> 子育てなんでも相談 : 090-5807-5673







## ありがとうのことば



コロナウィルス感染拡大防止で小学校が3/1から休校になり、その後緊急事態宣言が出て更に5/6まで休校が延びました。しんちゃんハウスでは夏休みより遥かに長い日数のお預かりが続いています。でも夏休みと違うのは、外出や移動などにいくつもの制限がある中で生活をしなければならないということ。

子ども達のお預かりも、必要最小限での保育利用を保護者の方にお願ひし、現在は半数以上の子どもがお休みをして自宅で過ごしています。部屋の中もそれぞれ距離感を保ちながら生活しているため、いつもの賑やかさは少なく、心なしかひっそりとしています。現在、通って来ている子ども達の親御さんは医療関係の方や保育をされている方、インフラ整備のお仕事の方も多くいらっしゃいます。長い長いお預かりが始まり、元気が取り柄の私たち支援員もさすがに疲れた顔をしているのでしょうか。朝やお迎えの時に「預かっていただきありがとうございます。」「本当に毎日ありがとうございます。」「本当に毎日ありがとうございます。」と言葉をかけていただいたり、連絡帳に労いの言葉を書いてきてくださったり、子ども達に差し入れのおやつを届けてくださったり・・・たくさんの「ありがとう」をいただいています。

目に観えない脅威が目の前にあり一番は仕事ではなく、本当は大切な家族と一緒に過ごしたい、大事な自分の子どもを守りたいときにご家族は思っているはず。でも私たち支援員に真っ先に気遣いの言葉をかけてくださる。

今、買い物に出かけると朝から長い行列が出来ています。店内に入ると「お一人様〇〇」と書かれた紙が貼られ殺伐とした雰囲気は何故か焦りを感じてしまいます。そんなに沢山必要なのでしょうか？ 自分の手に余る物は、無駄な物になってしまいます。「本当に必要な物を必要な分だけ」子ども達ご飯を食べるときにも「食べられる分だけ」そう声をかけています。そうすれば本当に必要としている所にきっと届くはず。自分さえ良ければそれでいい。無くなる前に何とかしようではなく、今は一呼吸おく気持ちの余裕が必要ではないかと自分自身にも言い聞かせています。私たちひとりひとりが危機感を持って生活していかななくてはならない長い規制の中、失ってしまう物ももしかしたらあるかもしれません。自分にとって何が必要で何が必要でないのか。その中で本当に大切なものは何なのか。そこに気づけばきっと大切なものは自分の手から無くならないと信じています。「ありがとう」の言葉から本当に大切なものが見えてきます。「こちらこそありがとうございます」。

放課後児童支援員 / 理事 石川由子

しんちゃんハウスでは本来振り込み頂いた保育料は返金しませんが、  
4月分に限り「生活・活動費」を返金させていただきます。  
皆様が笑顔になれる日が1日も早くおとずれますようお願いばかりです。



支援員皆が心からありがとうございます。

西鶴間からも同じ話をいただきます。接する支援員の気持ちは子供達に届いています。

現場は笑顔で穏やかです。

理事長 館合みち子